

消 防 年 報

平成 27 年版



清水町消防本部

はしがき

この年報は、平成 27 年中の清水町消防における主要な現況を収録し、将来の消防行政資料にするとともに、消防の概要を広く皆様に紹介することを目的として編さんしたものであります。この年報により、消防行政への御理解となお一層の御支援をいただければ幸いと存じます。

町民憲章

私たち清水町民は、

- 1 町民としての誇りをもち、自然を愛護し美しい町をつくります。
- 1 心身共にきたえ、健康で明るい町をつくります。
- 1 公共の決まりを守り、互いに助け合って住みよい町をつくります。
- 1 暖かな家庭をつくり、仕事にはげみ豊かな町をつくります。
- 1 教養を高め、創造と努力によって町の未来をひらきます。

目 次

消防情勢

清水町の位置と情勢	1
消防管内図	2
清水町消防のあゆみ	3
消防組織	8
一般会計予算に対する消防費の比率	9
消防職員の年齢・階級別表	10
職員教養実施状況	10
消防署の概要	11
特殊技能資格取得状況	12
消防車両一覧表	13

警 防

火災概況	14
火災概況前年との比較	15
火災出場状況	16
火災状況	17
業態別火災発生状況、火災原因別グラフ	18
月別出火件数	19
過去 10 年間の火災状況と比較	20
曜日別火災発生状況	21
時間別火災発生状況	21
消防出場状況	21
消防水利の現況	22
地水利状況調査回数	22
防火井戸水位変動表	23

通信・気象

無線局	24
電話配置状況	24
消防指令センター	25
月別気象状況	26
火災時の気象状況	27

予防・危険物

防火対象物数、立入検査及び消防用設備等設置検査等状況	28
防火管理者選任及び消防計画届出状況	29
消防用設備等の設置状況	30
建築同意処理状況、10年間の建築同意件数状況	31
火災予防条例等による届出状況	32
消防訓練及び防火管理講習会の実施状況、住宅用火災警報器設置状況	32
危険物製造所等の設置許可施設状況	33
危険物施設設置許可等及び事務処理状況	34
危険物製造所等申請件数及び手数料	34
火災予防運動	35

救 急

救急概況	36
年別救急活動状況	37
月別救急活動状況	38
時間別事故種別出場状況	39
事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員	40
事故種別救急出場件数、年別救急出場状況	41
曜日別救急出場件数、夜間救急医療センター搬送状況	42
急病にかかる疾病分類傷病程度別搬送人員、救助出場状況	43

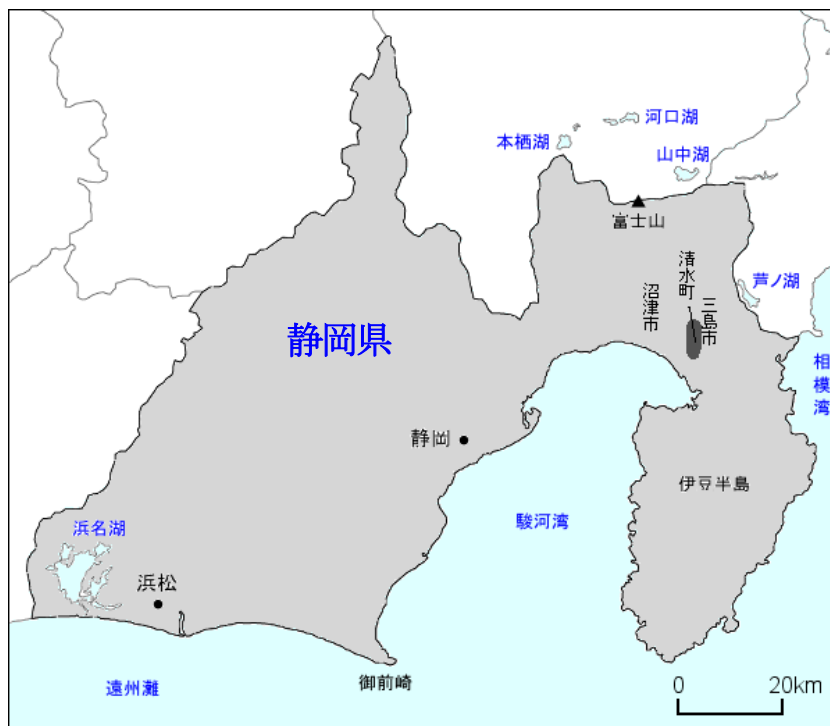
消 防 団

消防団組織図、分団管轄区域と人口及び世帯数	44
在職年数別消防団員数、消防団階級別実員数	45
消防団員年報酬、消防団員出場手当	46
消防団表彰歴	47
消防団年間行事、消防団車両一覧	48

消防情勢

清水町の位置と情勢

清水町は、静岡県東部に位置し、東に三島市、西に沼津市の両市に隣接した東西2.7km、南北4.5kmの区域は、ほぼ楕円形を成している。面積の95%は平坦地であり、町の中央部を国道一号線が東西に横断している。富士山を背景にして流れる柿田川の豊富な湧水と緑がおりなす自然の豊かさと温暖な気候に恵まれ、居住や産業に適した地域である。



面積 8.81 km²
 幅 東西 2.7km
 南北 4.5km
 位置 北緯 35° 05'
 東経 138° 53'
 海拔 14.7m

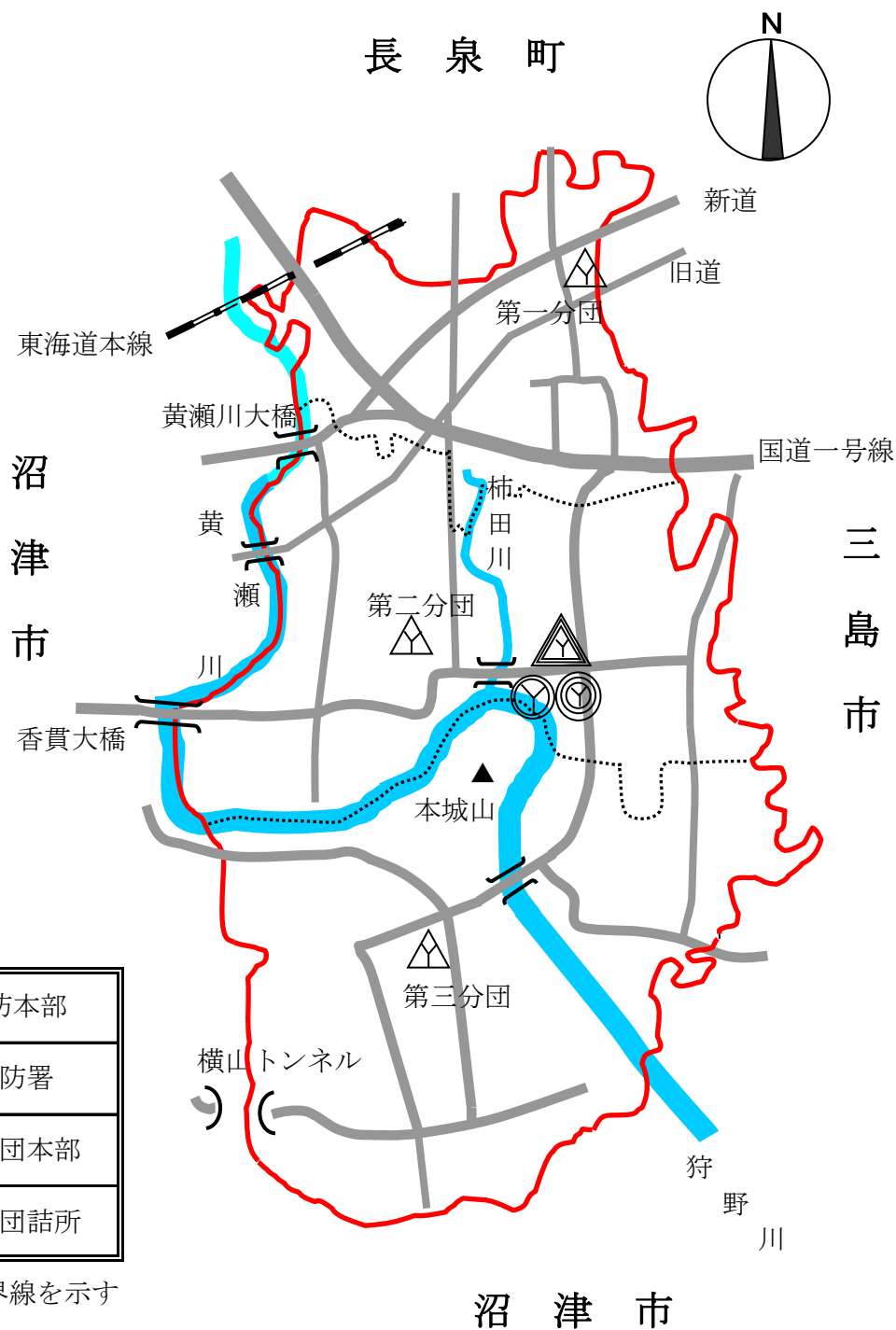
(各年4月1日現在 外国人を含む 平成28年は3月31日現在)

年 別	世帯数	人 口	面 積(km ²)	1 km ² 人口
平成 24 年	13,067	32,738	8.84	3,703
平成 25 年	13,219	32,674	8.84	3,696
平成 26 年	13,297	32,536	8.84	3,681
平成 27 年	13,402	32,585	*8.81	3,699
平成 28 年	13,474	32,484	8.81	3,687

*平成26年10月1日国土地理院の見直しによる公表値

消防管内図

平成28年3月31日



清水町消防のあゆみ

明治11年各区に消防隊が編成されていた。器具は竜吐水を使用し、その区または有志、個人にて所有されていた。しかし、当時の消防隊は、明治28年2月に勅令による消防規則が發布され、その後、私設消防組の廃止をせまられて全面的な組織改正を行っている。

明治 17 年	伏見、堂庭消防組を設置し、竜吐水ポンプを配備した。
明治 25 年	徳倉消防組を設置した。
明治 31 年	長沢、柿田に消防組を設置した。
明治 33 年	新宿に消防組を設置した。
明治 42 年 5 月	八幡に消防組を設置した。
大正 7 年 6 月 25 日	公設清水村消防組が組織された。（初代組頭は高田譲八郎氏）
大正 12 年 9 月 1 日	関東大震災があり復旧作業に活躍した。
大正 13 年 12 月 27 日	清水村消防組新宿部に動力消防ポンプを配備した。
昭和 4 年 10 月	清水村消防組新宿部に初めて消防自動車も配備された。
昭和 5 年 11 月	北伊豆地震によりの場地区の被災が大きく、被災地の片付けや警戒等に当たった。
昭和 14 年 4 月	警防団令の公布により清水村消防組を清水村警防団と改称した。10ヶ分団定員343人。
昭和 15 年 1 月	静岡市で大火が起こり沼津警察署長の命により第1分団17人が出動した。
昭和 15 年 10 月	清水村消防歴上唯一の消防殉職者が出る。
昭和 21 年 9 月	日本鋼管川崎工場に配置されたフェデラル消防自動車の払い下げを受け第8分団に配備した。
昭和 21 年 12 月	海軍工作学校より特殊三輪自動車ポンプの払い下げを受け第5分団に配備した。
昭和 23 年 11 月	消防団令の公布により従来の清水村警防団を清水村消防団と改称した。9ヶ分団定員205人。
昭和 30 年 4 月 1 日	清水村消防団3ヶ分団定員104人に再編成され、団員の縮小を図った。
昭和 33 年 9 月 26 日	狩野川台風翌日より韮山、伊豆長岡方面被災地救済復旧作業に当たった。
昭和 41 年 11 月	第2、3分団に消防ポンプ自動車を配備した。

昭和 49 年 7 月	第 1 分団に消防ポンプ自動車を配備した。
昭和 51 年	第 2、3 分団に新型消防ポンプ自動車を配備した。
昭和 52 年 11 月	第 1 分団詰所（鉄骨 2 階建84.82㎡）を新築した。
昭和 53 年 10 月	第 2 分団詰所（鉄骨 2 階建96.84㎡）を新築した。
昭和 54 年 11 月	清水町危険物安全協会を設立した。
昭和 54 年 12 月	第 3 分団詰所（鉄骨 2 階建121.49㎡）を新築した。
昭和 57 年 2 月	日本消防協会会長より竿頭綬表彰を受けた。
昭和 57 年 4 月 1 日	堂庭212番地の 1 に消防本部を設置、職員22人で発足した。
昭和 57 年 4 月 2 日	自治省告示第78号、消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める政令（昭和46年政令第170号）により設置指定された。
昭和 57 年 7 月 17 日	指令車を配備した。
昭和 57 年 11 月 30 日	消防本部、消防署の新庁舎が堂庭212番地の 1 に新築した。 （鉄筋コンクリート造り 2 階建延面積735.00㎡車庫棟260.00㎡）
昭和 57 年 12 月 28 日	軽四輪トラックを配備した。
昭和 58 年 2 月 17 日	日本損害保険協会から救急車が寄贈された。
昭和 58 年 2 月 26 日	水槽付消防ポンプ自動車を配備した。
昭和 58 年 3 月 1 日	消防救急指令装置を設置した。（FD-201日本電気株）
昭和 58 年 3 月 7 日	堂庭212番地の 1 に防災倉庫を新築した。 （鉄骨造り平屋建延面積50.00㎡）
昭和 58 年 3 月 29 日	消防無線免許が交付された。（基地局 1・陸上移動局10局）
昭和 58 年 4 月 1 日	消防署開設に伴い救急業務を開始した。（119番開局、マルチ方式）
昭和 58 年 7 月 5 日	広報車を配備した。
昭和 58 年 8 月 2 日	救急車（2号）を配備した。
昭和 58 年 10 月 14 日	消防ポンプ自動車（2号）を配備した。
昭和 59 年 1 月 27 日	消防無線免許が交付された。（陸上移動局 4 局）
昭和 59 年 1 月 30 日	堂庭212番地の 1 に消防訓練塔を新築した。
昭和 59 年 3 月 21 日	東京電力との専用電話が設置された。
昭和 59 年 4 月 1 日	消防職員 2 人増員し、24人となる。
昭和 59 年 11 月 18 日	第 1 分団に消防ポンプ自動車（CD-II型）を配備した。
昭和 61 年 8 月 16 日	第 2 分団に消防ポンプ自動車（CD-II型）を配備した。
昭和 62 年 7 月 28 日	日本消防協会から広報車を寄贈された。
昭和 63 年 2 月 4 日	静岡ガスとの直通電話が設置された。

昭和 63 年 3 月 9 日 日本消防協会会長より竿頭授表彰を受けた。

昭和 63 年 4 月 1 日 消防職員 1 人増員し、25人となる。

昭和 63 年 9 月 8 日 第 3 分団に消防ポンプ自動車（CD-II 型）を配備した。

平成 元 年 2 月 10 日 救助工作車を配備した。

平成 元 年 4 月 1 日 消防職員 3 人増員し、28人となる。

平成 2 年 2 月 14 日 消防無線免許を交付された。（陸上移動局 1 局）

平成 2 年 12 月 柿田196番地の 4 に第 2 分団詰所を移転新築した。（鉄骨 2 階建97.20㎡）

平成 3 年 3 月 29 日 救急車（2 号）を更新した。

平成 3 年 4 月 1 日 消防職員 2 人増員し、30人となる。

平成 4 年 3 月 4 日 消防庁長官より竿頭授表彰を受けた。

平成 5 年 4 月 1 日 消防職員 2 人増員し、32人となる。

平成 5 年 6 月 7 日 清水町危険物安全協会が全国危険物安全協会会長より功績賞を受ける。

平成 5 年 8 月 30 日 指令車を更新した。

平成 6 年 4 月 1 日 消防職員 2 人増員し、34人となる。

平成 6 年 5 月 12 日 清水町防火協会を設立した。

平成 7 年 8 月 29 日 日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車が寄贈された。

平成 7 年 12 月 12 日 消防署待機室及び更衣室を増築した。

平成 8 年 4 月 1 日 消防職員 2 人増員及び地震防災係を設置し、38人となる。

平成 8 年 4 月 26 日 女性消防団員 7 人を編成し、団員定員111人となる。

平成 9 年 2 月 27 日 救急車（1 号）を高規格救急車に更新した。

平成 9 年 4 月 1 日 消防職員 1 人増員し、39人となる。

平成 9 年 7 月 25 日 日本消防協会より女性消防団員（清風隊）に C-1 級小型動力ポンプ付軽積載車が寄贈された。

平成 9 年 10 月 8 日 清水町消防団旗を更新した。

平成 10 年 2 月 26 日 清水町消防団実施 5 ヶ年計画を策定した。

平成 10 年 4 月 1 日 消防団副団長 1 人及び女性消防団員 3 人増員し、定員数115人となる。

平成 10 年 4 月 1 日 消防職員の実員40人となる。

平成 10 年 11 月 15 日 岐阜県神戸町消防団と清水町消防団で友好協定を締結した。

平成 11 年 1 月 14 日 消防本部、消防署庁舎に災害対策室を増築した。

平成 11 年 3 月 23 日 消防ポンプ車（2 号車）を海外支援協力会を通じてタイに寄贈した。

平成 11 年 4 月 1 日 沼津市消防本部と合同で消防指令センターの運用を開始した。

平成 11 年 12 月 20 日 第 1 分団消防ポンプ自動車を更新した。

平成 12 年 1 月 17 日 水槽付消防ポンプ自動車（1 号）を更新した。

平成 13 年 4 月 1 日 消防職員の実員42人となる。

平成 14 年 2 月 21 日 第 1 分団詰所（鉄骨 2 階建125.53㎡）を新築した。

平成 14 年 2 月 22 日 第 2 分団消防ポンプ自動車を更新した。

平成 15 年 3 月 31 日 消防職員 1 人退職、実員41人となる。

平成 15 年 4 月 1 日 沼津市、三島市、裾野市、長泉町、清水町の 3 市 2 町で
消防指令センターの運用を開始した。

平成 16 年 2 月 徳倉1603番地の 3 に第 3 分団詰所を移転新築した。
（鉄骨 2 階建145.35㎡）

平成 16 年 3 月 31 日 消防職員 1 人退職、実員40人となる。

平成 16 年 4 月 1 日 消防職員 2 人増員し、実員42人となる。

平成 17 年 3 月 9 日 第 3 分団消防ポンプ自動車を更新した。

平成 17 年 3 月 9 日 日本消防協会より消防団に赤バイ 3 台が寄贈された。

平成 17 年 4 月 1 日 地震防災係が地域振興課に移管した。

平成 18 年 12 月 20 日 日本損害保険協会より高規格救急車が寄贈された。

平成 19 年 2 月 28 日 救急車（旧 2 号車）を海外支援協力会を通じて東南アジアに寄贈した。

平成 20 年 3 月 31 日 消防職員 1 人退職、実員41人となる。

平成 20 年 9 月 18 日 広報車（61号車）を指揮車に更新した。

平成 21 年 3 月 31 日 消防職員 3 人退職、実員38人となる。

平成 21 年 4 月 1 日 消防職員 2 人増員等により、実員42人となる。

平成 21 年 9 月 9 日 救命ボートを更新した。

平成 22 年 2 月 24 日 救助工作車（41号車）を更新した。

平成 22 年 3 月 31 日 消防職員 1 人退職、実員41人となる。

平成 22 年 4 月 1 日 消防職員 1 人増員により、実員42人となる。

平成 22 年 6 月 18 日 救急 1 号車を更新した。

平成 22 年 11 月 25 日 清風隊軽自動車を消防団広報車に更新した。

平成 23 年 3 月 31 日 消防職員 2 人退職、実員40人となる。

平成 23 年 4 月 1 日 消防職員 3 人増員等により、実員42人となる。

平成 24 年 4 月 1 日 消防職員の異動により、実員41人となる。

平成 24 年 12 月 20 日 消防署仮眠室を個室に改築した。

平成 25 年 3 月 31 日 消防職員 2 人退職、実員39人となる。

平成 25 年 4 月 1 日 消防職員 3 人増員により、実員42人となる。

平成 25 年 11 月 1 日 消防ポンプ自動車（3 号車）を更新した。

平成 26 年 4 月 1 日 消防職員 1 人増員等により、実員42人となる。

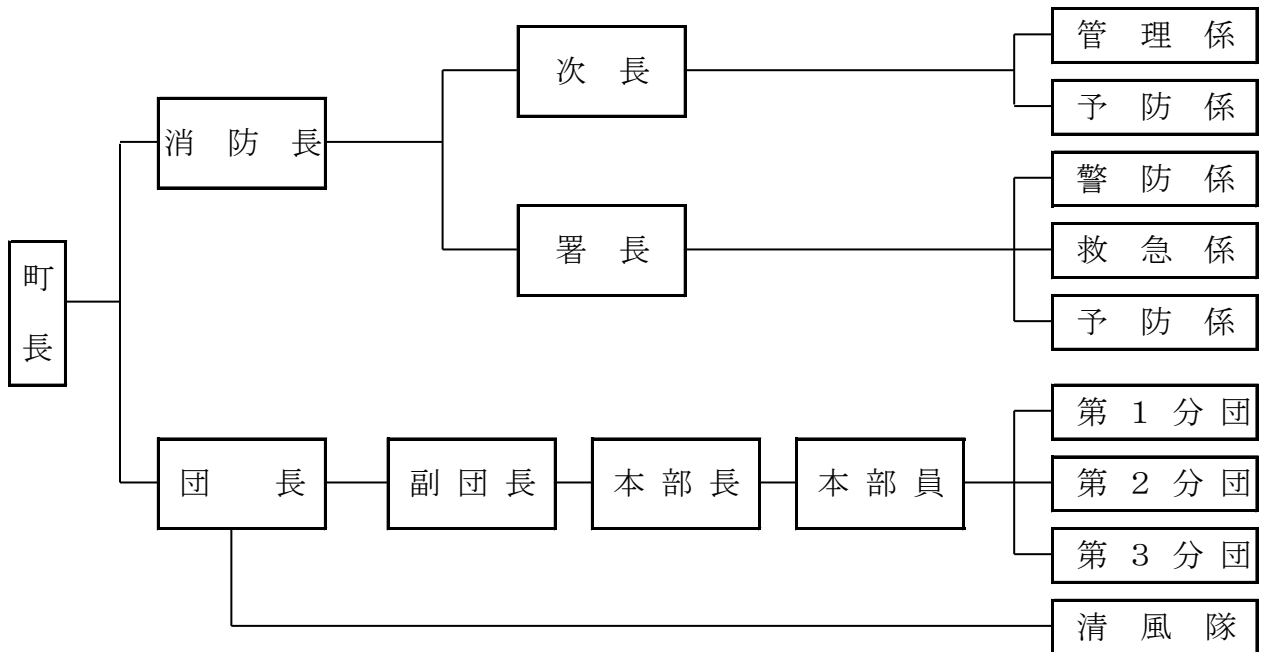
平成 26 年 10 月 28 日 指令車（51号車）を更新した。

平成 26 年 12 月 24 日 第 1 分団消防ポンプ自動車を更新した。

- 平成 27 年 10 月 1 日 消防署の勤務体制を 3 係制とした。
- 平成 28 年 1 月 28 日 清水町、沼津市、伊東市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町及び
函南町で共同指令センターの運用を開始した。
- 平成 28 年 3 月 31 日 清水町消防本部を廃止した。
- 平成 28 年 4 月 1 日 駿東伊豆消防組合が発足。駿東伊豆消防本部清水町消防署となる。

消防組織

平成28年 3月31日現在



歴代消防長

歴代消防署長

期 間	氏 名	期 間	氏 名
昭和57年～昭和58年	鈴木 卓	昭和57年～昭和60年	宇佐美 勝
昭和58年～昭和60年	飯田 治男	昭和60年～昭和63年	矢野 誠一
昭和60年～昭和63年	矢野 誠一	昭和63年～平成2年	高木 順一
昭和63年～平成元年	伊藤 和俊	平成2年～平成4年	芹澤 昌富雄
平成元年～平成4年	山本 和男	平成4年～平成8年	山本 達雄
平成4年～平成7年	武藤 哲二	平成8年～平成9年	眞田 謹吾
平成7年～平成10年	眞田 謹吾	平成9年～平成11年	勝 又 淳
平成10年～平成11年	鈴木 正則	平成11年～平成17年	加藤 久雄
平成11年～平成13年	奥村 誠司	平成17年～平成18年	渡辺 幸太郎
平成13年～平成15年	小坂 博康	平成18年～平成21年	高崎 義博
平成15年～平成17年	久保田 峰義	平成21年～平成26年	久保田 徹
平成17年～平成21年	加藤 久雄	平成26年～平成28年	岩崎 康彦
平成21年～平成22年	久保田 峰義		
平成22年～平成24年	杉山 滋		
平成24年～平成26年	秋山 治美		
平成26年～平成28年	山本 道雄		

歴代消防団長

期 間	氏 名	期 間	氏 名
昭和23年～昭和25年	鈴木 庄一	昭和49年～昭和60年	名 倉 勉
昭和26年～昭和33年	石垣 英雄	昭和60年～平成4年	飯田 武
昭和34年～昭和39年	武藤 平一	平成4年～平成7年	村山 宏 迪
昭和39年～昭和40年	大村 武雄	平成7年～平成19年	川合 敏彦
昭和41年～昭和49年	久保田 芳雄	平成19年～	山本 俊洋

一般会計予算に対する消防費の比率

(単位 千円)

区分 年度	一般会計予算	消 防 費	比 率(%)
平成 23 年度	9,034,000	489,308	5.4
平成 24 年度	8,846,000	515,452	5.8
平成 25 年度	8,747,000	517,162	5.9
平成 26 年度	9,524,000	623,539	6.5
平成 27 年度	8,670,000	756,386	8.7

消防予算の推移及び対比

(単位 円)

区分 年度	消 防 費	1世帯当たりの消防費	町民1人当たりの消防費
平成 23 年度	489,308,000	37,717	14,962
平成 24 年度	515,452,000	39,447	15,745
平成 25 年度	517,162,000	39,123	15,828
平成 26 年度	623,539,000	46,893	19,165
平成 27 年度	756,386,000	56,438	23,212

消防予算の内訳

(単位 千円)

区分 年度	消 防 費	内 訳			
		常備消防費	非常備消防費	消防施設費	地震対策費等
平成 23 年度	489,308	322,149	33,353	48,672	85,134
平成 24 年度	515,452	328,508	32,021	60,444	94,479
平成 25 年度	517,162	361,404	32,050	28,972	94,736
平成 26 年度	623,539	325,057	33,783	108,517	156,182
平成 27 年度	756,386	326,882	32,847	170,191	226,466

※ 地震対策費等は地震対策費に防災センター費及び水防費を含む。

消防職員の年齢・別表

平成 28 年 3 月 31 日現在

年 齢	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
18 歳 ～ 20 歳							
21 歳 ～ 25 歳						2	2
26 歳 ～ 30 歳					5	2	7
31 歳 ～ 35 歳				2	2		4
36 歳 ～ 40 歳			4	5	1		10
41 歳 ～ 45 歳		1	4				5
46 歳 ～ 50 歳		2	5				7
51 歳 ～ 55 歳		2	1				3
56 歳 以上	1	2	1				4
計	1	7	15	7	8	4	42
平均年齢	57.0	52.0	45.2	36.6	30.8	26.3	40.6

職員教養実施状況（県消防学校等）

年 度	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
初任科教育	1	3		3	1	
初級幹部科						
中級幹部科						
予防査察科	2	1	1	1	1	1
予防科危険物課程						
火災調査科	1	1	1	1	1	1
救助課程	1	1		1	1	
救急標準課程		2	2	2	2	1
救急救命士研修課程	1	1	1		1	
気管挿管・薬剤投与講習						
無線通信						
警防課程						1
特殊災害課程						
消防大 学 校	2	1	1		1	
計	8	10	6	8	8	4

消防署の概要

静岡県駿東郡清水町堂庭 212 番地の 1 電話 (代) 055(973)0119



施設概要

- | | | | |
|---|-------|----------------------------|--------------------------|
| 1 | 構造 | 事務棟、鉄筋コンクリート2階建 (一部車庫棟鉄骨造) | |
| 2 | 面積 | 建築面積 | 510.55 m ² |
| | | 内訳 | 1階 497.50 m ² |
| | | 2階 387.50 m ² | |
| | 延べ面積 | 885.00 m ² | |
| | (車庫面積 | 245.58 m ²) | |
| 3 | 竣工 | 昭和 57 年 11 月 30 日 | |
| | | 増築竣工 平成 11 年 1 月 14 日 | |

特殊技能資格取得状況

平成28年3月31日現在

種 別		階 級	計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
自動車免許等		大型1種	32	1	5	14	6	4	2
		普通1種	41	1	7	14	7	8	4
		自動2輪	24	1	5	9	5	3	1
		大型特殊	2			1	1		
		けん引	1			1			
		小型船舶	15	1	3	8	3		
危険物取扱者		甲種							
		乙種1類	4			1	2	1	
		2類	4			1	2	1	
		3類	4			1	2	1	
		4類	19		2	7	3	5	2
		5類	4			1	2	1	
		6類	4			1	2	1	
		丙種	10		5	4	1		
その他		第2級陸上特殊無線技師	42	1	7	15	7	8	4
		救急業務資格者	42	1	7	15	7	8	4
		救急救命士	11		5	2	3	1	
		消防設備士	2		1	1			
		防災士	1			1			
		自動車整備士	1				1		
		小型移動式クレーン	23	1	6	13	3		
		玉掛け	28	1	7	15	5		
		酸素欠乏危険作業主任者	25	1	7	11	6		

消防車両一覧表

名 称	車両名	登録番号	登 録 年 月 日	車 種	燃 料
清水町1	水槽付き消防ポンプ自動車	沼津 830 に・1-19	平成12年1月12日	日野レンジャー	軽 油
清水町3	消防ポンプ自動車	沼津 800 す 28-05	平成25年11月1日	日野デュトロ	軽 油
清水町41	救 助 工作車	沼津 800 は・5-88	平成22年2月19日	日野レンジャー	軽 油
清水町51	指令車	沼津 800 す 29-28	平成26年10月28日	三菱デリカ	ガソリン
清水町61	指揮車	沼津 800 す 19-88	平成20年9月18日	トヨタハイエース	ガソリン
清水町62	広報車	沼津 500 ひ 39-38	平成14年6月18日	ニッサンセレナ	ガソリン
清水町71	作業車	沼津 88 す 16-70	平成9年7月16日	トヨタダイナ	ガソリン
救 急 清水町1	救急車	沼津 800 す 23-30	平成22年6月3日	トヨタハイメディック	ガソリン
救 急 清水町2	救急車	沼津 800 す・943	平成18年12月14日	トヨタハイメディック	ガソリン

警 防

火災概況

平成 27 年中の火災件数は 9 件で、前年より 7 件の減少となっています。
このうち、建物火災が 4 件で、火災全体の約 44% を占めています。
建物火災の焼損面積は 0.06 m²、損害額は 191 千円となっており、
前年と比較して焼損面積、損害額ともに減少しています。

この統計は、平成 27 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日までのものです。

火災概況前年との比較

(△印:減)

区 分		平 成 26 年	平 成 27 年	増 減
件 数	建 物 火 災	11	4	△ 7
	林 野 火 災			
	車 両 火 災	2	1	△ 1
	そ の 他 火 災	3	4	1
	計	16	9	△ 7
建 物 焼 損 面 積 (m ²)		291.12	0.06	△291.06
林 野 焼 損 面 積 (a)				
損 害 額	建 物 火 災	89,866	191	△89,675
	林 野 火 災			
	車 両 火 災	471	75	△396
	そ の 他 火 災	2		△ 2
	計 (千円)	90,339	266	△90,339
り 災 棟 数	全 焼	1		△ 1
	半 焼			
	部 分 焼	3		
	ぼ や	7	4	△ 3
	計	11	4	△ 7
り 災 世 帯	全 損	1		
	半 損			
	小 損	8		△ 8
	計	9		△ 9
り 災 人 員		24		△24
死 者				
負 傷 者		5		△ 5

火災出場状況

発 生 日	火 災 種 別	発 生 場 所	出 場 車 両			出 場 人 員			放 水 車 両		
			消 防 署	消 防 団	そ の 他	消 防 署	消 防 団	そ の 他	消 防 署	消 防 団	そ の 他
1月4日(日)	車 両	玉川区	2			9					
1月23日(金)	その他	上徳倉区	2	4		10	40		1		
1月24日(土)	建 物	下徳倉区	2	4		8	43		2		
2月22日(日)	建 物	上徳倉区	2	4		8	31				
3月14日(木)	その他	上徳倉区	2	4		11	27		2		
4月18日(土)	その他	上徳倉区	2	4		9	34		2		
7月15日(水)	建 物	卸団地区	2	4		8	27				
7月27日(月)	その他	柿田区	2			5			1		
10月8日(木)	建 物	久米田区	3			10					
合 計			19	24		78	202		8		

火災状況

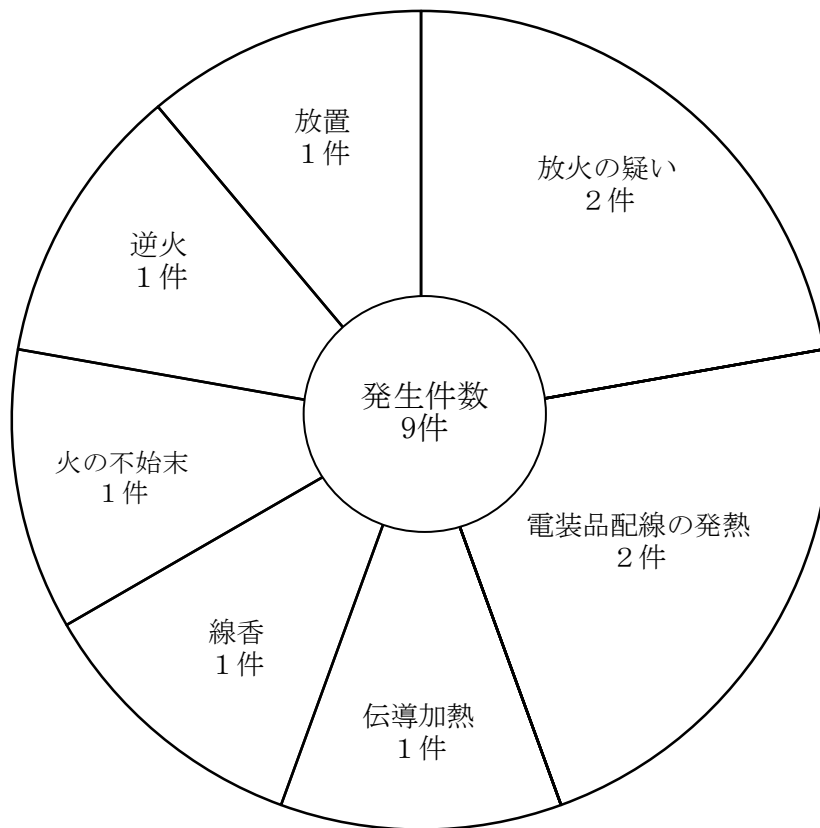
	出火日時	場所	種別	り災状況	損害額(千円)
1	1月4日 15時53分	玉川区	車両	0 m ²	75 千円
2	1月23日 18時57分	上徳倉区	その他	0 m ²	0 千円
3	1月24日 2時20分	上徳倉区	建物	ぼや 0 m ²	99 千円
4	2月22日 13時25分	上徳倉区	建物	ぼや 0 m ²	83 千円
5	3月14日 11時35分	上徳倉区	その他	0 m ²	0 千円
6	4月18日 12時15分	上徳倉区	その他	0 m ²	0 千円
7	7月15日 12時10分	卸団地	建物	ぼや 0 m ²	0 千円
8	7月27日 20時00分	柿田区	その他	0 m ²	0 千円
9	10月8日 10時10分	久米田区	建物	ぼや 0.06 m ²	9 千円

建物火災	4 件	44.44%		
その他火災	4 件	44.44%	損害額	266 千円
車両火災	1 件	11.12%		
合計	9 件	100%		

業態別火災発生状況

区分	建物													林野	車両	その他	合計	
	専用住宅	併用住宅	工場・作業場	事務所	店舗	飲食店	倉庫	学校	旅館	病院	寺院・神社	その他	小計					
					1		3									1	4	

火災原因別グラフ



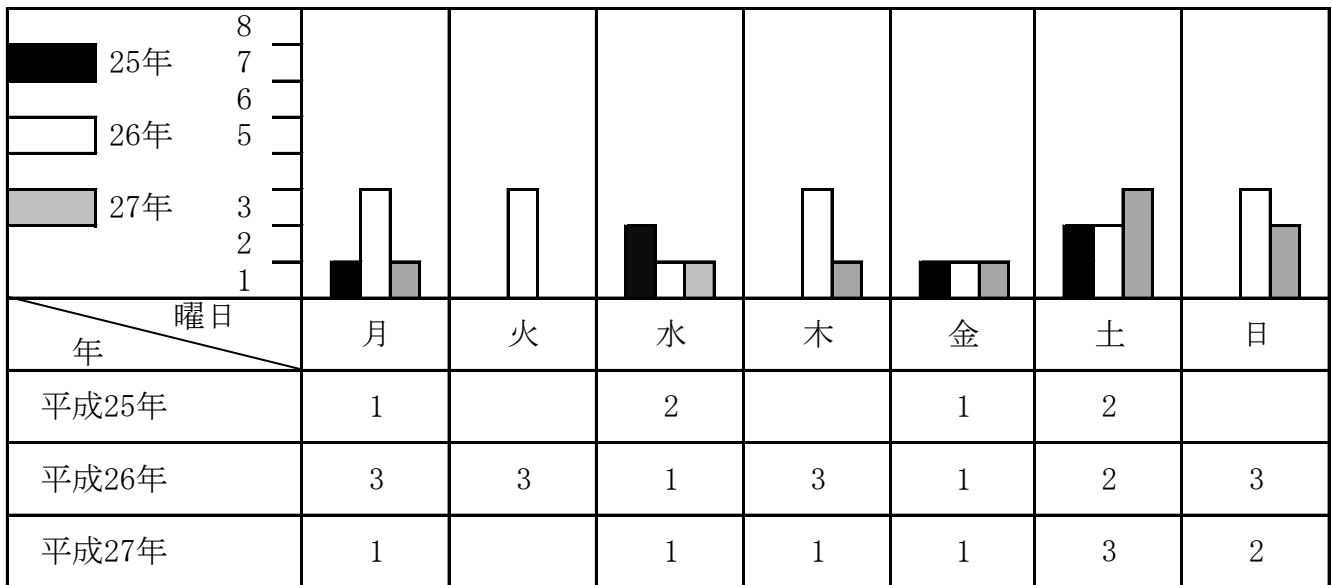
月別出火件数

区分 月別	火災種別件数				焼損棟数				り り 災 世 帯 数	り り 災 人 員	死傷者		焼損面積		損害額(千円)				
	計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災	全 焼	半 焼	部 分 焼			ぼ や	死 者	負 傷 者	建 物 (㎡)	林 野 (a)	合 計	建 物	林 野	車 両
1月	3	1		1	1				1					174	99			75	
2月	1	1							1					83	83				
3月	1				1														
4月	1				1														
5月																			
6月																			
7月	2	1			1				1										
8月																			
9月																			
10月	1	1							1				0.06	9	9				
11月																			
12月																			
計	9	4		1	4				4				0.06	266	191			75	

過去10年間の火災状況と比較

区分 年別	火災種別				り災棟数					焼損面積		損害額 (千円)					
	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	建 物 (㎡)	林 野 (a)	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計
平成 18年	8		1	3	12		2	6		8	299.00		26,224		210	84	26,518
平成 19年	10		1	3	14	2	1	4	3	10	382.00		31,319		200	270	31,789
平成 20年	6			4	10	1			5	6	180.00		5,948			40	5,988
平成 21年	12	1		5	18	1		5	6	12	47.20	0.2	1,630				1,630
平成 22年	6		2	1	9	1		2	4	7	92.57		8,905		1		8,906
平成 23年	12		3	1	16	4	3	3	4	14	1,056.75		66,038		23		66,061
平成 24年	4		1	4	9			1	3	4	30.06		2,408		501	1	2,910
平成 25年	5			1	6			2	3	5	7,344.00		9,272				9,272
平成 26年	11		2	3	16	1		3	7	11	291.12		89,866		471	2	90,339
平成 27年	4		1	4	9				4	4	0.06		191		75		266

曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況

区分 時間帯	建物 火災	林野 火災	車両 火災	その他 火災	焼損面積		損害 額 (千円)
					建 物 (m ²)	林 野 (a)	
0 時 ~ 6 時	1						99
6 時 ~ 12 時	1			1	0.06		9
12 時 ~ 18 時	2		1	1			158
18 時 ~ 24 時				2			
不 明							
計	4		1	4	0.06		266

消防出場状況

種 別 件 数 人 員	救 助	応 援 火 災	演 習 訓 練	広 報 ・ 訓 練 指 導	風 水 害 等 の 出 動	捜 索	原 因 調 査	特 別 警 戒	誤 報 等	P A 連 携	ド ク タ ー ヘ リ 警 備	そ の 他
件 数	9	0	0	82	11	1	9	2	15	90	79	41
延 べ 出 場 人 員	87	0	0	560	46	8	63	22	67	530	183	171

消防水利の現況

平成28年3月31日現在

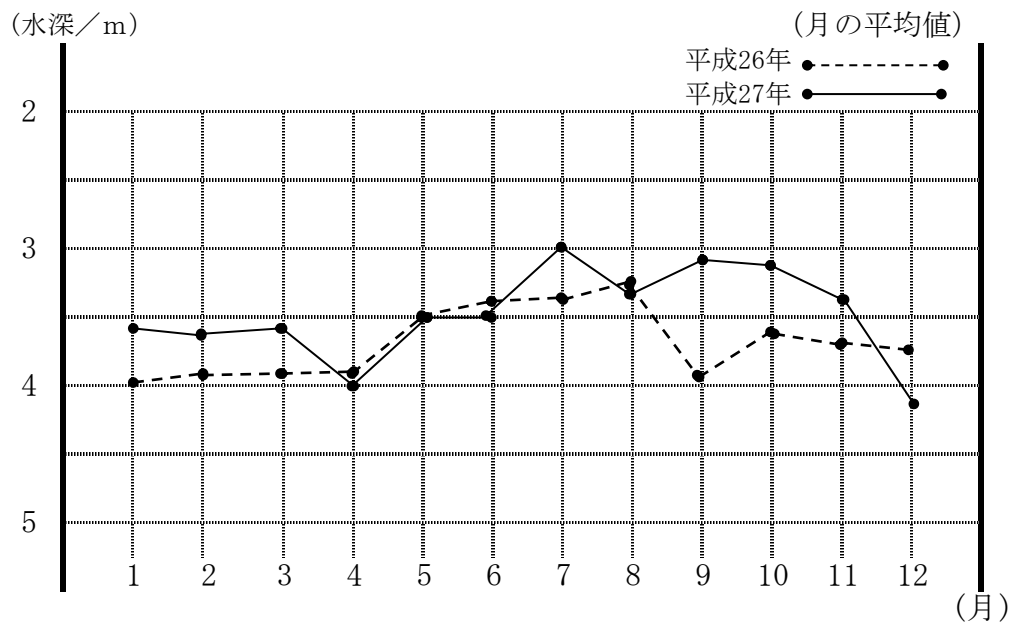
種別 地区別		消火栓	貯水槽		井戸	プール	合計
			耐震	普通			
一 該 区	玉川区	15	4				19
	新宿区	17	3	4			24
	伏見区	49	9 (1)	3	2		63 (1)
	八幡区	20	2	2	1		25
二 該 区	長沢区	55	8	4	2	1	70
	柿田区	44	6	6	1	1	58
	堂庭区	23	9 (1)	1		1	34 (1)
	久米田区	7	4				11
	卸団地区	10	1				11
三 該 区	戸畑区	9	4				13
	的場区	11	1				12
	湯川区	14	4	2		1	21
	上徳倉区	68	10	1		1	80
	中徳倉区	19	3	1			23
	下徳倉区	35	8	3			46
	外原区	12	5 (2)			1	18 (2)
合計		408	81 (4)	27	6	6	528 (4)

表中() は100m³耐震貯水槽、内3基は飲料水兼用

地水利状況調査回数

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
調査回数	4	5	2	2	5	2	5	13	7	5	3	3	56

防火井戸水位変動表



(水深/m)

No. 月	1	2	3	4	5	6
1月	5.9	4.8	2.1	2.9	3.1	2.7
2月	5.8	4.8	2.2	3.5	2.8	2.9
3月	6.1	4.7	2.6	3.5	2.9	2.9
4月	5.6	4.8	2.4	3.9	3.2	3.1
5月	5.4	4.3	2.4	3.2	2.9	2.8
6月	4.5	4.7	2.8	3.9	3.3	3.0
7月	3.5	4.0	2.1	3.0	2.7	2.7
8月	5.3	4.0	2.0	3.0	2.8	2.8
9月	4.8	3.5	1.8	2.4	2.5	2.5
10月	5.7	3.7	1.9	2.6	2.5	2.7
11月	5.5	4.6	2.4	2.6	2.7	2.4
12月	6.0	4.6	2.6	4.6	3.6	3.2

1. 法泉寺前 (八幡)
2. 玉井寺北側 (伏見)
3. 観光タクシー東側 (長沢)
4. 坂田マンション (伏見)
5. 静岡医療センター (長沢)
6. 町営住宅西側 (柿田)

通信・気象

無線局

呼 出 名 称		出力	積載車両	呼 出 名 称		出力
移 動 局	しみずちょう 1	5W/10W	水槽付ポンプ自動車	携 帯 局	しみずちょう 101	5W/2W/1W
	しみずちょう 3	5W/10W	消防ポンプ自動車		しみずちょう 102	5W/2W/1W
	しみずちょう 41	5W/10W	救助工作車		しみずちょう 103	5W/2W/1W
	しみずちょう 51	5W/10W	指 令 車		しみずちょう 104	5W/2W/1W
	しみずちょう 61	5W/10W	指 揮 車		しみずちょう 105	5W/2W/1W
	しみずちょう 73	5W/10W	作 業 車		しみずちょう 106	5W/2W/1W
	きゅうきゅうしみずちょう 1	5W/10W	救急 1 号車		しみずちょう 107	5W/2W/1W
	きゅうきゅうしみずちょう 2	5W/10W	救急 2 号車		しみずちょう 108	5W/2W/1W
					しみずちょう 109	5W/2W/1W
					しみずちょう 110	5W/2W/1W
					しみずちょう 111	5W/2W/1W
					しみずちょう 112	5W/2W/1W
					しみずちょう 113	5W/2W/1W
					しみずちょう 114	5W/2W/1W
			しみずちょう 115	5W/2W/1W		
			しみずちょう 116	5W/2W/1W		
			しみずちょう 301	5W/2W/1W		
			しみずちょう 302	5W/2W/1W		
			しみずちょう 303	5W/2W/1W		
			しみずちょう 304	5W/2W/1W		

電話配置状況

平成28年 3月31日現在

電 話 名	台 数	適 要
一 般 加 入 電 話	2	973-0119及び973-0120
直 通 電 話	2	消防指令センター・東京電力
役場庁舎内線電話	28	消防本部・署
携 帯 電 話	3	消防署・救急 1 号車・救急 2 号車
フ ァ ッ ク ス	1	NTT

消防指令センター（通信指令室）

平成 11 年 4 月 1 日から清水町と沼津市との共同通信指令業務が沼津市南消防署で運用開始され、これに伴いより一層迅速・確実な消防業務が行われるようになった。

平成 15 年 4 月には、この共同運用に三島市・裾野市・長泉町が加わり、現在三市二町で指令施設を共同運用している。

平成 27 年 10 月 6 日に三島市・裾野市・長泉町が共同運用から外れる。

所在地 静岡県沼津市吉田町 20 番地の 1 沼津市南消防署 3 階
無線局 種別 基地局 識別信号 <しみずちょうしょうぼう>
周波数 150.31MHz 出力 5W

平成 28 年 1 月 28 日に清水町・沼津市・伊東市・伊豆市・伊豆の国市・東伊豆町及び函南町で共同指令センターの運用を開始した。

所在地 静岡県沼津市北高島町 21 番 38 号
駿東伊豆地区消防指令センター

〔通信指令システム概要〕

1 指令管制システム

本システムは、発信地表示システム等により得た情報を基に、災害種別、災害分類に応じた出場計画に基づき最適な隊編成を行い、自動的に出場指令をかけることのできるもので、自動出場指定装置・指令制御装置・車両動態管理装置・指令端末装置等で構成され、消防緊急情報システムの要となるシステムである。

(1) 自動出場隊編成

出場隊は、町名ごとに署所の駆け付け順（災害地点と署所の距離）及び経路探査順（最短時間での到着）にて設定し、災害種別、分類、地域特性により決定される。

(2) AVM装置（車両動態管理装置）

車両の動態及びGPS（Global Positioning System）による位置情報を総合管理するシステムでこれを使用することにより、自動化による最適な出場隊編成並びに二重部隊編成の防止を図る。

AVM端末は、一線車両及び予備車に搭載し動態管理する。また、動態及び位置情報（町名）については、指令センターの車両表示盤に表示される。

(3) 音声合成装置

災害出場時の連絡業務（出場指令・順次指令・災害状況案内）を自動で音声合成し送る。

(4) 指令端末装置

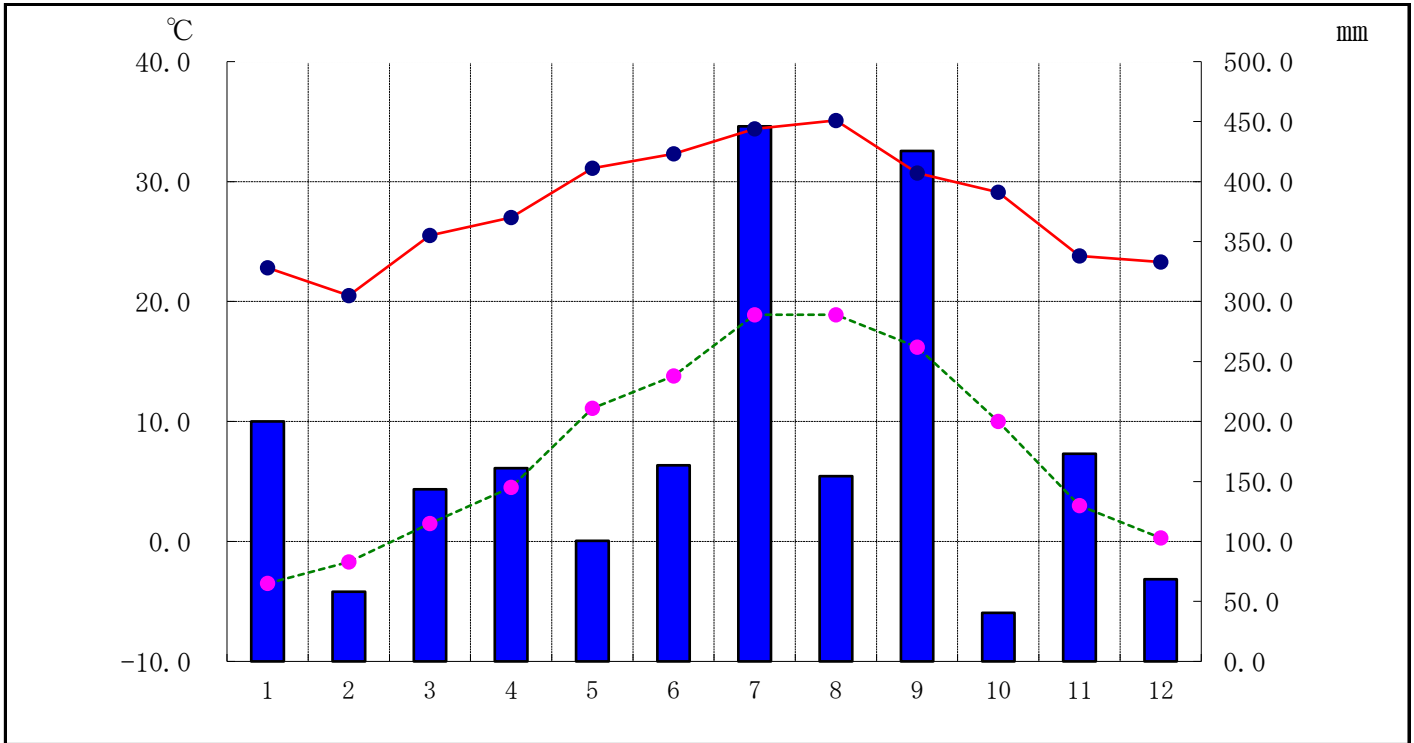
各署所に設置された指令端末装置から出場指令書がプリントアウトされる。指令書には、災害地点付近の地図及び支援情報・参考事項等が表示される。

119 番災害種別受信件数

	火災	救急	日平均(救急)	救助	他の災害	合計
平成 27 年 (1/1~12/31)	15	1410	3.9	12	33	1748 件
	問合わせ	間違い等	訓練 他	回線テスト	いたずら	
	123	74	71	6	4	

月別気象状況

最高気温 ————
 最低気温 - - - - -
 雨量 ■■■■■



区分		月												
		年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
天気概況	晴	224	24	19	19	13	22	13	18	20	17	23	14	22
	曇	25	4	3	3	4	0	1	4	1	2	1	2	0
	雨(雪)	116	3	6	9	13	9	16	9	10	11	7	14	9
気圧	平均	1011.8	1012.7	1012.6	1014.5	1014.5	1007.9	1006.3	1007.9	1007.1	1009.9	1013.0	1019.0	1016.6
湿度 (%)	最少	11.0	14.0	11.4	13.4	11.8	17.0	33.2	40.0	39.0	29.0	17.0	19.0	20.0
	平均	82.3	77.9	71.4	72.0	80.1	75.0	82.7	95.9	90.6	92.3	82.8	86.5	80.3
気温 (°C)	最高	35.1	22.8	20.5	25.5	27.0	31.1	32.3	34.4	35.1	30.7	29.1	23.8	23.3
	最低	-3.5	-3.5	-1.7	1.5	4.5	11.1	13.8	18.9	18.9	16.2	10.0	3.0	0.3
	平均	17.1	6.7	7.9	11.5	15.8	21.2	22.6	25.6	27.1	22.7	18.3	14.9	10.6
雨	降雨量(mm)	2134.6	200.0	58.0	143.5	161.0	100.5	163.5	446.0	154.5	425.5	40.5	173.1	68.5
風向	最多風向		東	東	南西	東南東	西	東	南西	東南東	東	東	東	東
風速	平均(m/s)		1.5	1.8	2.5	2.4	2.2	1.8	2.2	2.0	1.6	1.6	1.6	2

火災時の気象状況

	出火日時	場所	種別	天気	風向	風速 (m/s)	温度 (℃)	湿度 (%)
1	1月4日 15時53分	玉川区	車両	晴	南南西	0.0	10.0	53.0
2	1月23日 18時57分	上徳倉区	その他	晴	東	1.0	9.0	60.0
3	1月24日 2時20分	下徳倉区	建物	晴	東	0.8	4.2	93.3
4	2月22日 13時25分	上徳倉区	建物	曇	西北西	1.1	11.1	81.0
5	3月14日 11時35分	上徳倉区	その他	曇	東	3.2	12.3	48.0
6	4月18日 12時15分	上徳倉区	その他	晴	南西	6.0	16.0	50.0
7	7月15日 12時10分	卸団地区	建物	晴	西南西	2.0	30.0	55.0
8	7月27日 20時00分	柿田区	その他	晴	南西	7.8	28.3	77.0
9	10月8日 10時10分	久米田区	建物	晴	南西	1.0	20.0	74.2

予防・危険物

防火対象物数、立入検査及び消防用設備等設置検査等状況

(平成27年度)

防火対象物の用途			防火対象物数		立入検査実施数	消防用設備等 設置検査	消防用設備等	
			地上5階以上				点検報告	1,000㎡以上
1	イ	劇場・映画館	0	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂・集会場	25	0	7	1	7	4
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場・ダンスホール	5	0	3	0	4	3
	ハ	風営法関連特殊営業	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等個室形態施設	3	0	2	1	1	0
3	イ	待合・料理店	0	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店	18	0	4	0	6	0
4		百貨店・物品販売店	81	0	33	3	26	6
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1	1	1	0	1	1
	ロ	寄宿舎・共同住宅・下宿	576	24	3	4	133	9
6	イ	病院・診療所・助産所	19	1	6	1	11	2
	ロ	(1) 老人短期入所施設・養護老人ホーム	9	1	0	4	9	2
		(2) 救護施設	0	0	0	0	0	0
		(3) 乳児院	0	0	0	0	0	0
		(4) 障害児入所施設	0	0	0	0	0	0
		(5) 障害者支援施設	0	0	0	0	0	0
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム	6	0	2	0	6	4
		(2) 更生施設	0	0	0	0	0	0
		(3) 保育所・児童養護施設	7	0	0	3	4	2
		(4) 児童発達支援センター	1	0	0	0	1	0
		(5) 身体障害者福祉センター・障害者支援施設	2	0	0	0	0	0
	ニ	幼稚園・養護学校	5	0	0	0	4	3
7		学校・各種学校	17	1	3	0	3	2
8		図書館・美術館	1	0	1	0	1	0
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	0	0	0	0	0	0
	ロ	イ以外の公衆浴場	0	0	0	0	0	0
10		車両の停車場	0	0	0	0	0	0
11		神社・寺院・教会	1	0	1	1	1	0
12	イ	工場・作業所	212	0	16	16	41	8
	ロ	映画・テレビスタジオ	0	0	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫	12	1	6	0	3	2
	ロ	飛行機格納庫	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	138	0	35	0	32	3
15		前各項に該当しない事業所	109	3	23	0	25	7
16	イ	特定複合用途防火対象物	57	1	14	1	24	5
	ロ	その他の複合用途防火対象物	26	2	17	2	3	0
合計			1,331	35	177	37	346	63

防火管理者選任及び消防計画届出状況

(平成27年度)

防火対象物の用途		区 分	防火対象物数	防火管理者選任 義務数	防火管理者選任		消 防 計 画	
					届出済数	届出率(%)	届出済数	届出率(%)
1	イ	劇 場 ・ 映 画 館	0	0	0	-	0	-
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	25	25	16	64.0%	16	64.0%
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ	0	0	0	-	0	-
	ロ	遊技場・ダンスホール	5	5	5	100.0%	5	100.0%
	ハ	風営法関連特殊営業	0	0	0	-	0	-
	ニ	カラオケボックス等個室形態施設	3	3	3	100.0%	3	100.0%
3	イ	待 合 ・ 料 理 店	0	0	0	-	0	-
	ロ	飲 食 店	18	14	12	85.7%	12	85.7%
4		百 貨 店 ・ 物 品 販 売 店	81	72	40	55.6%	35	48.6%
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	1	1	1	100.0%	1	100.0%
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 ・ 下 宿	576	45	37	82.2%	35	77.8%
6	イ	病 院 ・ 診 療 所 ・ 助 産 所	19	9	5	55.6%	4	44.4%
	ロ	(1) 老人短期入所施設・養護老人ホーム	9	0	9	-	9	-
		(2) 救 護 施 設	0	0	0	-	0	-
		(3) 乳 児 院	0	0	0	-	0	-
		(4) 障 害 児 入 所 施 設	0	0	0	-	0	-
		(5) 障 害 者 支 援 施 設	0	0	0	-	0	-
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム	6	6	6	100.0%	6	100.0%
		(2) 更 生 施 設	0	0	0	-	0	-
		(3) 保 育 所 ・ 児 童 養 護 施 設	7	7	7	100.0%	7	100.0%
		(4) 児 童 発 達 支 援 セ ン タ ー	1	1	1	100.0%	1	100.0%
		(5) 身体障害者福祉センター・障害者支援施設	2	2	2	100.0%	2	100.0%
ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校	5	5	5	100.0%	5	100.0%	
7		学 校 ・ 各 種 学 校	17	13	13	100.0%	13	100.0%
8		図 書 館 ・ 美 術 館	1	1	1	100.0%	0	0.0%
9	イ	蒸 気 浴 場 ・ 熱 気 浴 場	0	0	0	-	0	-
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場	0	0	0	-	0	-
10		車 両 の 停 車 場	0	0	0	-	0	-
11		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	1	1	1	100.0%	1	100.0%
12	イ	工 場 ・ 作 業 所	212	28	27	96.4%	27	96.4%
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ	0	0	0	-	0	-
13	イ	自 動 車 庫	12	8	8	100.0%	8	100.0%
	ロ	飛 行 機 格 納 庫	0	0	0	-	0	-
14		倉 庫	138	8	5	62.5%	4	50.0%
15		前各項に該当しない事業所	109	40	36	90.0%	36	90.0%
16	イ	特 定 複 合 用 途 防 火 対 象 物	57	27	20	74.1%	17	63.0%
	ロ	そ の 他 の 複 合 用 途 防 火 対 象 物	26	7	4	57.1%	4	57.1%
合 計			1,331	328	264	80.5%	251	76.5%

消防用設備等の設置状況（延べ面積150㎡以上）

（平成27年度）

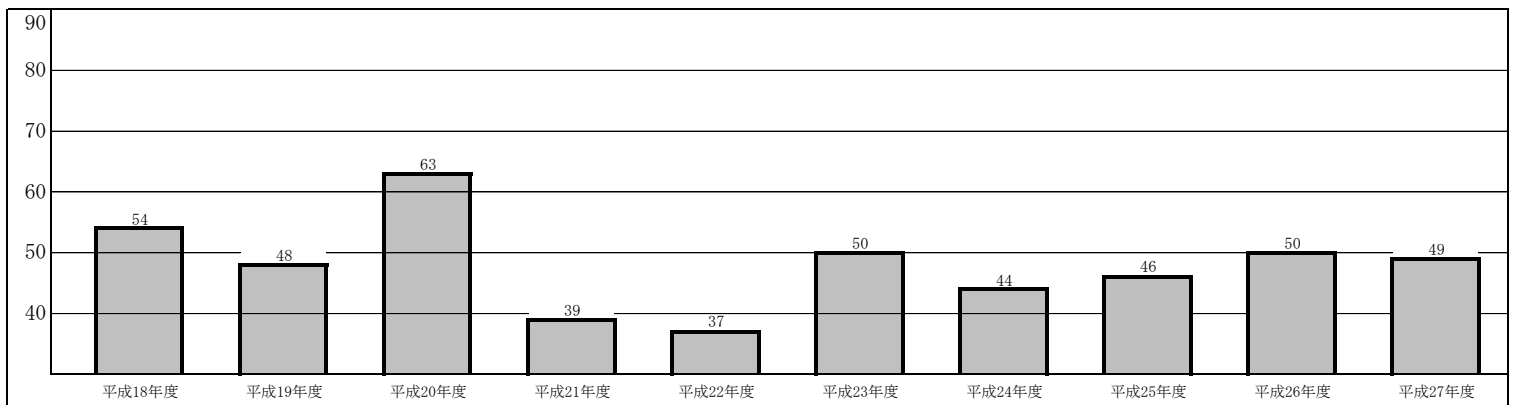
消防用設備等の区分 防火対象物の用途			防火対象物数	消火設備		警報設備			避難設備		連結送水管
				屋内消火栓	スプリンクラー	自動火災報知設備	漏電火災警報器	非常ベル・サイレン設備	救助の袋他・の緩器降具機等	誘導灯	
1	イ	劇場・映画館	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂・集会場	25	2	0	17	1	23	11	24	0
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場・ダンスホール	5	1	0	5	0	4	0	5	0
	ハ	風営法関連特殊営業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等個室形態施設	3	0	0	3	0	3	3	3	0
3	イ	待合・料理店	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店	18	1	0	6	0	9	2	12	0
4		百貨店・物品販売店	81	7	5	50	0	17	6	66	0
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1	1	0	1	0	1	0	1	1
	ロ	寄宿舎・共同住宅・下宿	576	20	0	38	3	69	66	2	5
6	イ	病院・診療所・助産所	19	0	2	12	0	5	4	17	1
	ロ	(1) 老人短期入所施設・養護老人ホーム	9	0	6	9	0	3	1	9	0
		(2) 救護施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(3) 乳児院	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(4) 障害児入所施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(5) 障害者支援施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム	6	0	0	6	0	1	1	7	0
		(2) 更生施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(3) 保育所・児童養護施設	7	2	0	3	0	0	2	7	0
		(4) 児童発達支援センター	1	0	0	1	0	1	0	1	0
		(5) 身体障害者福祉センター・障害者支援施設	2	0	0	2	0	0	0	2	0
ニ	幼稚園・養護学校	5	1	0	4	0	0	0	4	0	
7		学校・各種学校	17	8	0	12	0	11	0	0	0
8		図書館・美術館	1	0	0	1	0	0	0	0	0
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	イ以外の公衆浴場	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10		車両の停車場	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11		神社・寺院・教会	1	0	0	0	0	1	0	0	0
12	イ	工場・作業所	212	22	0	92	0	0	1	0	0
	ロ	映画・テレビスタジオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫	12	0	0	8	0	1	0	0	1
	ロ	飛行機格納庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	138	15	0	56	0	0	2	8	0
15		前各項に該当しない事業所	109	13	0	38	0	0	4	10	0
16	イ	特定複合用途防火対象物	57	4	2	17	0	0	10	27	0
	ロ	その他の複合用途防火対象物	26	1	0	5	0	0	9	5	0
合計			1,331	98	15	386	4	149	122	210	8

建築同意処理状況

(平成27年度)

防火対象物の用途		区分	合計	新築	増築	改築・その他	指導有り
1	イ	劇場・映画館	0	0	0	0	0
	ロ	公会堂・集会場	0	0	0	0	0
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場・ダンスホール	0	0	0	0	0
	ハ	風営法関連特殊営業	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス等個室形態施設	0	0	0	0	0
3	イ	待合・料理店	0	0	0	0	0
	ロ	飲食店	0	0	0	0	0
4		百貨店・物品販売店	3	3	0	0	3
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	0	0	0	0	0
	ロ	寄宿舎・共同住宅・下宿	1	1	0	0	1
6	イ	病院・診療所・助産所	1	1	0	0	1
	ロ	(1) 老人短期入所施設・養護老人ホーム	0	0	0	0	0
		(2) 救護施設	0	0	0	0	0
		(3) 乳児院	0	0	0	0	0
		(4) 障害児入所施設	0	0	0	0	0
		(5) 障害者支援施設	0	0	0	0	0
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター・軽費老人ホーム	0	0	0	0	0
		(2) 更生施設	0	0	0	0	0
		(3) 保育所・児童養護施設	0	0	0	0	0
		(4) 児童発達支援センター	0	0	0	0	0
		(5) 身体障害者福祉センター・障害者支援施設	0	0	0	0	0
	ニ	幼稚園・養護学校	0	0	0	0	0
7		学校・各種学校	0	0	0	0	0
8		図書館・美術館	0	0	0	0	0
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場	0	0	0	0	0
	ロ	イ以外の公衆浴場	0	0	0	0	0
10		車両の停車場	0	0	0	0	0
11		神社・寺院・教会	0	0	0	0	0
12	イ	工場・作業所	5	5	0	0	5
	ロ	映画・テレビスタジオ	0	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫	2	2	0	0	2
	ロ	飛行機格納庫	0	0	0	0	0
14		倉庫	8	8	0	0	2
15		前各項に該当しない事業所	7	7	0	0	2
16	イ	特定複合用途防火対象物	1	1	0	0	1
	ロ	その他の複合用途防火対象物	1	1	0	0	0
		専用住宅	5	5	0	0	0
		長屋	12	12	0	0	0
		給油取扱所	0	0	0	0	0
		その他	3	3	0	0	0
合計			49	49	0	0	17

(件) 10年間の建築同意件数状況



火災予防条例等による届出状況

(平成27年度)

区 分	件数	区 分	件数
禁止行為の解除承認申請	7	防火対象物使用開始	26
炉・ボイラー設備等	0	防火管理者選任（解任）	59
燃料電池・変・発・蓄電設備	7	消防計画作成（変更）	67
ネオン管灯設備	0	消防訓練実施計画	184
水素ガスを充填する気球	0	消防用設備等着工	43
火災とまぎらわしい行為	25	消防用設備等設置	90
煙火の打ち上げ	4	改修結果（計画）報告	79
催物開催	1	消防用設備等点検結果報告	376
水道断減水	3	防火対象物定期点検報告	14
道路工事	35	少量危険物・指定可燃物	4
指定洞道等	0	合 計	1069
露店等の開設届出書	45		

消防訓練及び防火管理講習会の実施状況

(平成27年度)

区 分	消 防 訓 練		甲種防火管理講習会		合 計
	消火訓練	避難訓練	新 規	再講習	
実施回数	45	40	1	0	86
参加者数（修了者数）	5,270	1,268	40	0	6,578

住宅用火災警報器設置状況

平成28年3月31日現在

必要な場所に設置されているか

付加設置	0.0%
設置	83.3%
未設置	16.7%
不明	0.0%

設置率	83.3%
-----	-------

危険物製造所等の設置許可施設状況

(平成27年度)

区分 製造所等の別		合計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所					事 業 所 数		
				屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油		第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所		一 般 取 扱 所	
											営 業 用	自 家 用						
許 可 施 設 数		49	0	7	6	1	10	0	2	1	7	6	0	0	0	9	36	
立 入 検 査 実 施 数		49	0	7	6	1	10	0	2	1	7	6	0	0	0	9	36	
数 量 別	5 倍 以 下	19	0	6	1	1	7	0	2	0	0	0	0	0	0	2		
	5 倍 を 超 え 10 倍 以 下	7	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	4		
	10 倍 を 超 え 50 倍 以 下	12	0	1	1	0	2	0	0	1	0	4	0	0	0	3		
	50 倍 を 超 え 100 倍 以 下	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
	100 倍 を 超 え 150 倍 以 下	4	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
	150 倍 を 超 え 200 倍 以 下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	200 倍 を 超 え 1,000 倍 以 下	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0		
	1,000 倍 を 超 え る も の	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
類 別	単 独	第 1 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		第 2 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		第 3 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		第 4 類	49	0	7	6	1	10	0	2	1	7	6	0	0	0	9	
		第 5 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		第 6 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	混 在	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

危険物施設設置許可等及び事務処理状況

(平成27年度)

区分		製造所等の別	合計	貯蔵所							取扱所					その他	
				屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油		第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所		一般取扱所
											営業用	自家用					
許可	設置	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0
	変更	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
完成検査	設置	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	変更	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
完成検査前検査	水張	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	水圧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
承認	仮使用	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
	仮貯蔵・仮取扱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
届出	譲渡・引渡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	品名数量変更	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保安監督者選解任	3	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	廃止	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	資料提出	8	0	0	0	1	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0
	予防規程	7	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2	0
	改修報告	9	0	0	0	1	1	0	0	0	3	3	0	0	0	1	0
	定期点検結果報告書	14	0	0	0	0	5	0	0	0	5	3	0	0	0	1	0

危険物製造所等申請件数及び手数料

(平成27年度)

申請区分	許可		完成検査		完成検査前検査		承認		合計
	設置	変更	設置	変更	水張	水圧	仮貯蔵 仮取扱	仮使用	
件数	4	2	2	2	0	0	0	2	12
手数料(円)	150,000	45,500	39,000	22,750	0	0	0	10,800	268,050

火災予防運動

平成 27 年度全国統一防火標語

< 無防備な 心に火災が かくれんぼ >

秋季全国火災予防運動 平成 27 年 11 月 9 日 (月) ~ 11 月 15 日 (日)

- (1) サイレン吹鳴 (30 秒一斉) PM 8 : 00
- (2) 町内巡回広報
- (3) 独居高齢者宅の防火診断
- (4) 町内小学児童の防火ポスター展示 (サントムーン柿田川)
- (5) 大型懸垂幕の掲出 (役場庁舎)
- (6) 火災予防運動 “のぼり旗” の設置 (町内主要幹線道路)
- (7) 火災予防キャンペーン (サントムーン柿田川)
- (8) 消防署・消防団車両パレード
- (9) 町ホームページに広報文を掲載

春季全国火災予防運動 平成 28 年 3 月 1 日 (火) ~ 3 月 7 日 (月)

- (1) サイレン吹鳴 (30 秒一斉) PM 8 : 00
- (2) 町内巡回広報
- (3) 独居高齢者宅の防火診断
- (4) PR 新聞「清水町消防だより」発行 (町内全戸配布)
- (5) 大型懸垂幕の掲出 (役場庁舎)
- (6) 火災予防運動 “のぼり旗” の設置 (町内主要幹線道路)
- (7) 町ホームページに広報文を掲載

救 急

救急概況

平成 27 年中の救急出場件数は 1,383 件で、前年より 79 件増加、また搬送人員は 1,320 人で、前年比 119 人の増加となっています。

これは、1 日平均約 3.8 件の割合で救急車が出場し、町民 25 人に 1 人が救急車によって搬送されたこととなります。

救急件数を事故種別ごとにみると、第 1 位は「急病」によるもので約 60%を占めており、次いで「転院搬送」、「一般負傷」、「交通事故」の順になっています。

傷病別程度では、軽症が 46%と約半数を占めています。

昨今の救急業務は、救急救命士制度の導入以来、活動がより高度で専門的な内容となり、町民の関心も高まっています。これに伴い、救急事故の事前防止及び救命率向上のため、住民を対象とした応急手当の普及啓発をはじめとする予防救急活動に取り組むことが重要となっています。

今後も、救急隊員に対する教育訓練の充実、高度救命資機材等の整備や医療機関との連携を図り、救急救命体制の強化を推進していきます。

この統計は、平成 27 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日までのものです。

年別救急活動状況

事故種別		合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他
年別														
平成23年	出場件数	1,331	2			138	14	9	182	1	13	771	201	
	搬送件数	1,210	2			130	14	9	152	1	7	697	198	
	搬送人員	1,224	2			143	14	9	152	1	7	698	198	
平成24年	出場件数	1,311	1			141	11	11	159	5	19	768	196	
	搬送件数	1,223				130	10	11	145	5	16	710	196	
	搬送人員	1,240				146	10	11	145	5	16	711	196	
平成25年	出場件数	1,250	1			158	4	8	162	5	2	735	174	1
	搬送件数	1,159	1			141	4	8	155	5	1	671	173	
	搬送人員	1,176	1			157	4	8	155	5	1	672	173	
平成26年	出場件数	1,304	3			114	10	14	189	3	7	785	179	
	搬送件数	1,195	3			103	10	14	169	3	5	709	179	
	搬送人員	1,201	5			107	10	14	169	3	5	709	179	
平成27年	出場件数	1,383			1	129	9	6	192	5	6	803	232	
	搬送件数	1,302				118	9	6	180	4	5	749	231	
	搬送人員	1,320				132	9	6	180	5	5	751	232	

月別救急活動状況

種 別 月 別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他
1 月	出場件数	120			7			9	3		81	20	
	搬送件数	114			7			9	3		75	20	
	搬送人員	115			7			9	3		75	20	
2 月	出場件数	105			15	1		12			57	20	
	搬送件数	94			13	1		10			50	20	
	搬送人員	99			17	1		10			51	20	
3 月	出場件数	103			14	1		9		1	58	20	
	搬送件数	99			13	1		9		1	55	20	
	搬送人員	99			13	1		9		1	55	20	
4 月	出場件数	106			8	1		10		1	67	19	
	搬送件数	96			6	1		9		1	60	19	
	搬送人員	97			7	1		9		1	60	19	
5 月	出場件数	121			14	1		19	1		68	18	
	搬送件数	113			12	1		18	1		63	18	
	搬送人員	115			14	1		18	1		63	18	
6 月	出場件数	114			16	3		17	1	2	54	21	
	搬送件数	107			14	3		15		2	53	20	
	搬送人員	111			18	3		15		2	53	20	
7 月	出場件数	133			8		1	23			81	20	
	搬送件数	123			7		1	21			74	20	
	搬送人員	125			9		1	21			74	20	
8 月	出場件数	119			6		2	16		1	74	20	
	搬送件数	117			6		2	16		1	72	20	
	搬送人員	118			7		2	16		1	72	20	
9 月	出場件数	105		1	12			17			62	13	
	搬送件数	100			12			17			58	13	
	搬送人員	100			12			17			58	13	
10 月	出場件数	123			11	1	2	21		1	69	18	
	搬送件数	117			11	1	2	20			65	18	
	搬送人員	118			11	1	2	20			65	19	
11 月	出場件数	104			9	1		18			53	23	
	搬送件数	98			9	1		15			50	23	
	搬送人員	99			9	1		15			51	23	
12 月	出場件数	130			9		1	21			79	20	
	搬送件数	124			8		1	21			74	20	
	搬送人員	124			8		1	21			74	20	
合計	出場件数	1,383		1	129	9	6	192	5	6	803	232	
	搬送件数	1,302			118	9	6	180	4	5	749	231	
	搬送人員	1,320			132	9	6	180	5	5	751	232	

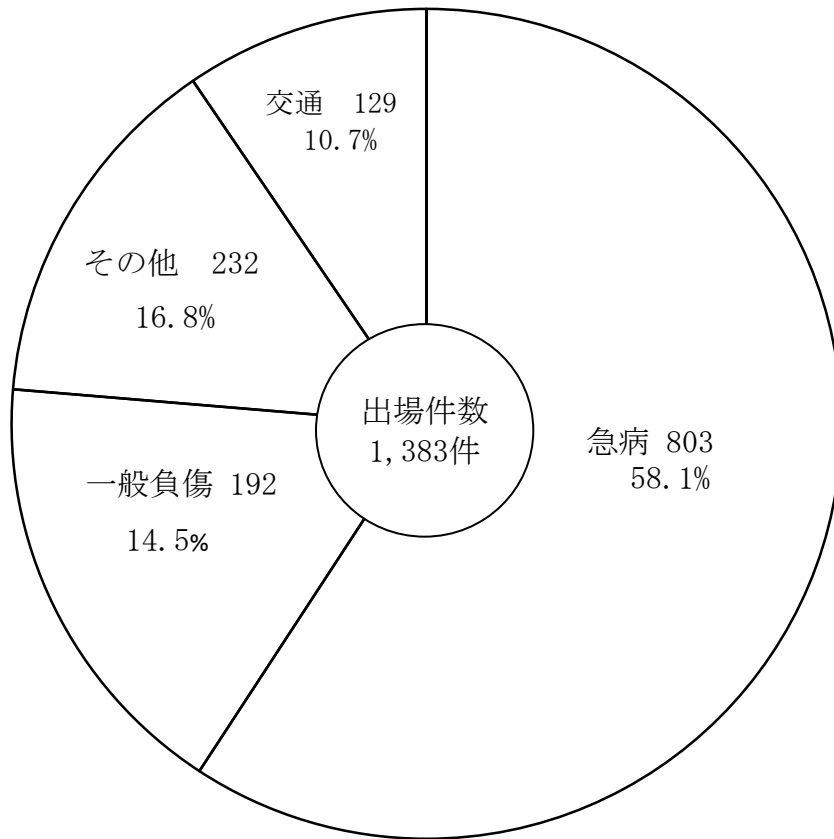
時間別事故種別出場状況

事故種別 時間		合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資機材等	その他
覚 知 時 間 別	0～2	61				1			4	1	1	51	3			
	2～4	48				1	1		4			38	4			
	4～6	46					1		9			32	4			
	6～8	92			1	8			20		1	61	1			
	8～10	176				18	2		31		1	86	38			
	10～12	192				21	2	3	31			78	57			
	12～14	165				17			23			85	40			
	14～16	141				9	1		15			86	30			
	16～18	147				28	1		19	1		69	29			
	18～20	134				15		1	14	1	1	84	18			
	20～22	105				10			11	2	2	75	5			
22～24	76				1	1	2	11			58	3				
合計		1,393			1	129	9	6	192	5	6	803	232			

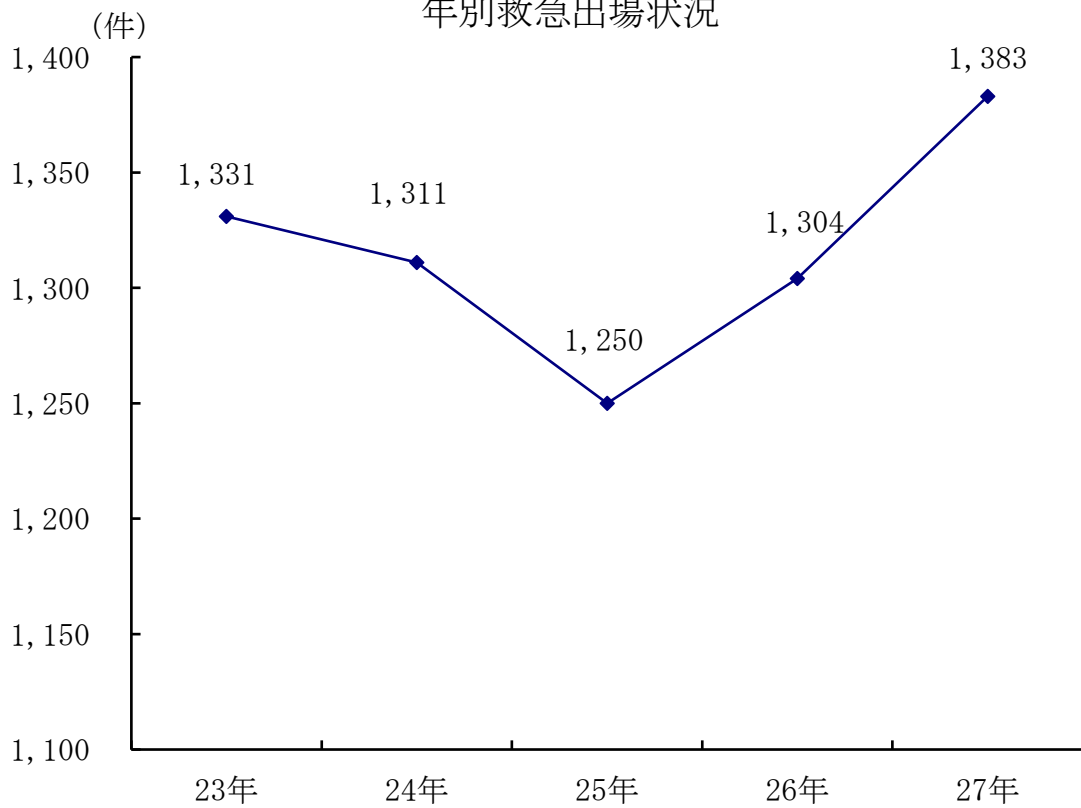
事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員

傷病程度別		計	事故種別搬送人員											
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	そ の 他
新生児	死 亡													
	重 症													
	中等症	2									2			
	軽 症													
	その他													
	計	2										2		
乳幼児	死 亡													
	重 症	1											1	
	中等症	8							1			5	2	
	軽 症	36				3			9			24		
	その他													
	計	45				3			10			29	3	
少年	死 亡													
	重 症	1											1	
	中等症	11				2			1			6	2	
	軽 症	37				11			2	5	1	17	1	
	その他													
	計	49				13			2	6	1	23	4	
成人	死 亡	3									2	1		
	重 症	23				1	3		1		1	8	9	
	中等症	159				10	2	1	10	1	1	92	42	
	軽 症	258				67	4	3	26	1	1	145	11	
	その他													
	計	443				78	9	4	37	2	5	246	62	
老人	死 亡	7										7		
	重 症	106				1			6			69	30	
	中等症	391				4			58			207	122	
	軽 症	277				33			63	2		168	11	
	その他													
	計	781				38			127	2		451	163	
合計	死 亡	10									2	8		
	重 症	131				2	3		7		1	77	41	
	中等症	571				16	2	1	70	1	1	312	168	
	軽 症	608				114	4	5	103	4	1	354	23	
	その他													
	計	1,320				132	9	6	180	5	5	751	232	

事故種別救急出場件数



年別救急出場状況



曜日別救急出場件数

事故種別 曜日		合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	資機材等	その他
曜日別	月	222				20			23	4	1	125	49			
	火	199				16	2		38		2	104	37			
	水	186			1	12	1		28			109	35			
	木	195				15	1	2	28			117	32			
	金	208				28	3	1	32		2	107	35			
	土	190				24	1		17			120	28			
	日	183				14	1	3	26	1	1	121	16			
	合計	1,383			1	129	9	6	192	5	6	803	232			

夜間救急医療センター搬送状況

区分		収容	二次搬送
搬送人員	男	60	5
	女	55	1
	合計	115	6
傷病程度別	軽症	112	
	中等症	3	4
	重症		2
	死亡		
	その他		
	合計	115	6

急病にかかる疾病分類傷病程度別搬送人員

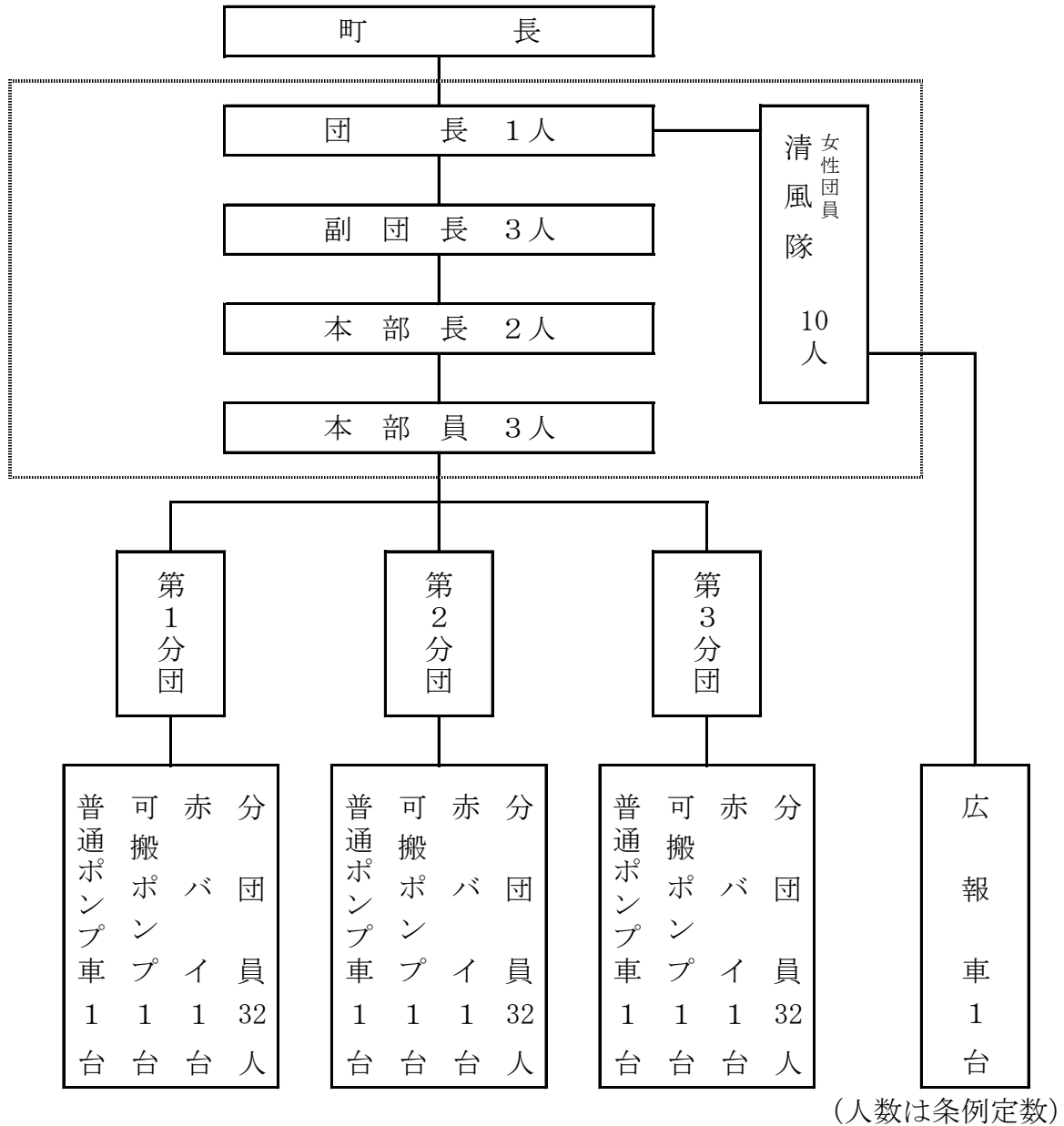
分類別 程度別	計	循環系		消 化 系	呼 吸 系	精 神 系	感 覚 系	泌 尿 系	新 生 物	そ の 他	症 不 明 ・ 微 候 の 状 態 断 名
		脳 疾 患	心 疾 患 等								
死 亡	8								1		7
重 症	77	15	14	2	18	1	2		3		22
中等症	312	26	21	39	47	6	19	3	11	32	108
軽 症	354	7	15	31	31	28	26	6	3	42	165
計	751	48	50	72	96	35	47	9	18	74	302

救助出場状況

	発 生 日 時	発 生 場 所	種 別
1	1月2日 11時36分	新宿区	その他
2	3月7日 7時32分	伏見区	その他
3	5月1日 8時15分	卸団地区	交 通
4	5月28日 7時40分	卸団地区	交 通
5	6月15日 1時30分	下徳倉区	その他
6	8月16日 14時2分	湯川区	その他
7	9月9日 8時23分	湯川区	水難
8	9月16日 11時36分	玉川区	交通
9	11月24日 11時16分	玉川区	その他

消 防 団

消防団組織図



分団管轄区域と人口及び世帯数

平成28年3月31日現在

名 称	位 置	管轄区域	人 口	世帯数
団 本 部	消防本部	町内全域	32,484	13,474
第 1 分 団	新宿 148番地	玉川区・新宿区 伏見区・八幡区	9,280	3,954
第 2 分 団	柿田196番地の 4	長沢区・柿田区 堂庭区・久米田区	9,599	3,849
第 3 分 団	徳倉1603番地の 3	戸畑区・的場区・湯川区 徳倉区・外原区	13,605	5,671

在職年数別消防団員数

平成28年3月31日現在

在職年数	合計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団員数	111	58	29	18	4	1	1	0

消防団階級別実員数

平成28年3月31日現在

区分	団本部 (清風隊含む)	第1分団	第2分団	第3分団	合計
団長	1				1
副団長	3				3
本部長	2				2
本部員	4				4
分団長		1	1	1	3
副分団長		2	2	2	6
班長	2	6	6	6	20
団員	7	22	21	22	72
合計	19	31	30	31	111

消防団員年報酬

平成28年3月31日現在

区 分	報酬の額（円）		旅 費 の 額
団 長	年 額	70,000	団長、副団長 清水町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例（昭和28年条例第9号）第2条の規定による旅費相当額 その他の団員 清水町職員の旅費に関する条例（昭和55年条例第6号）の規定による職員の旅費相当額
副 団 長	"	60,000	
本 部 長	"	48,000	
本 部 員	"	48,000	
分 団 長	"	48,000	
副分団長	"	43,000	
班 長	"	35,000	
団 員	"	33,000	

消防団員出場手当

平成28年3月31日現在

区 分	支給単位	金額（円）	備 考
出動手当	1 回	1,500	
訓練手当	日 額	1,500	
警戒手当	"	1,500	
臨時手当			必要に応じ別に定める

消防団表彰歴

昭和19年	優良表彰（静岡県）
昭和26年	優良表彰（静岡県）
昭和28年	竿頭授表彰（日本消防協会）
昭和32年	優良表彰（静岡県）
昭和33年 11月	伊豆災害功績顕彰（静岡県）
昭和34年	静岡県規律訓練査閲大会表彰（静岡県消防協会）
昭和35年	優良表彰（静岡県）
昭和38年	静岡県消防操法査閲大会表彰（静岡県消防協会） 優勝 表彰旗受賞（静岡県消防協会）
昭和40年	静岡県規律訓練査閲大会表彰（静岡県消防協会）
昭和46年	静岡県消防操法査閲大会表彰（静岡県消防協会）
昭和49年 9月	台風8号及び集中豪雨災害功労表彰（静岡県消防協会） 台風8号及び集中豪雨災害感謝状（静岡県） 台風8号及び集中豪雨災害感謝状（静岡県議長）
10月	功労竿頭授表彰（静岡県消防協会）
昭和50年 8月	静岡県規律訓練査閲大会表彰（静岡県消防協会） 準優勝
昭和57年 2月	竿頭授表彰（日本消防協会）
12月	社会功労賞（静岡新聞・SBS静岡放送）
昭和62年 8月	静岡県規律訓練査閲大会表彰（静岡県消防協会）
11月	水火災功労者表彰（静岡県）
昭和63年 3月	竿頭授表彰（日本消防協会）
平成3年 2月	優良消防団表彰旗（日本消防協会）
平成4年 3月	竿頭授表彰（消防庁長官）
平成7年 8月	静岡県消防操法査閲大会（静岡県消防協会） 小型ポンプ操法の部 優勝 ポンプ車操法の部 第3位
平成8年 10月	第15回全国消防操法大会 第5位優良表彰（日本消防協会）
平成9年 2月	日本消防協会秋季ポスター採用感謝状
平成13年 2月	日本消防協会消防団員のための活動マニュアルビデオ作成協力感謝状
平成19年 8月	静岡県消防操法査閲大会（静岡県消防協会） 小型ポンプ操法の部 第3位 ポンプ車操法の部 第3位
平成26年 3月	表彰旗表彰（消防庁長官）

消防団年間行事

(平成27年度)

<p>4 月 5 日 消防団任命式・第1回総合訓練 11 日 消防団新旧歓送迎会 17 日 狩野川水系水門操作講習会 21 日 新団員研修会 21 日 定例役員会 26 日 駿東支部教育訓練指導員研修会</p> <p>5 月 10 日 第2回総合訓練 18 日 第38回清水町まとい会総会 19 日 定例役員会</p> <p>6 月 14 日 第3回消防団総合訓練 23 日 定例役員会 28 日 駿東支部消防操法大会</p> <p>7 月 7 日 狩野川放水路50周年記念シンポジウム 12 日 第4回消防団総合訓練 21 日 定例役員会 25 日 前団長叙勲祝賀会</p> <p>8 月 1 日 湧水まつり警備 2 日 狩野川ふれあいフェスタ警備 20 日 第5回総合訓練 25 日 定例役員会 30 日 清水町総合防災訓練</p> <p>9 月 24 日 定例役員会 29 日 駿東支部消防団員親睦 スポーツ大会</p>	<p>10 月 4 日 第52回町民体育大会警備 16 日 駿東支部まとい会総会 18 日 第6回総合訓練 20 日 定例役員会 20 日 第2回消防団入団促進検討委員会 29 日 全国女性消防団員活性化大会</p> <p>11 月 7 日 静岡県消防大会 15 日 第7回消防団総合訓練 15 日 防火パレード 24 日 定例役員会</p> <p>12 月 6 日 清水町地域防災訓練 12 日 消防団年末懇親会 27 日 第8回総合訓練</p> <p>1 月 10 日 平成28年清水町消防出初式 19 日 定例役員会</p> <p>2 月 14 日 第9回総合訓練 23 日 定例役員会</p> <p>3 月 11 日 駿東支部地震対策研修会 並びに消防団員意見発表会 18 日 定例役員会 20 日 第10回総合訓練</p>
---	---

車両一覧

平成28年3月31日現在

名 称	車 輛 名	登 録 番 号	登 録 年 月 日	車 種	燃 料
第1分団	ポンプ車	沼津800ぬ・・・1	平成26年12月22日	日 野	軽 油
第2分団	ポンプ車	沼津800と・・・2	平成14年2月22日	日 野	軽 油
第3分団	ポンプ車	沼津800と・・・3	平成17年3月3日	日 野	軽 油
清風隊	広報車	沼津800す2393	平成22年11月25日	三 菱	ガソリン
赤バイ1号	自動二輪車	沼津す6533	平成17年3月4日	ヤマハ	ガソリン
赤バイ2号	自動二輪車	沼津す6534	平成17年3月4日	ヤマハ	ガソリン
赤バイ3号	自動二輪車	沼津す6535	平成17年3月4日	ヤマハ	ガソリン